

## 現状

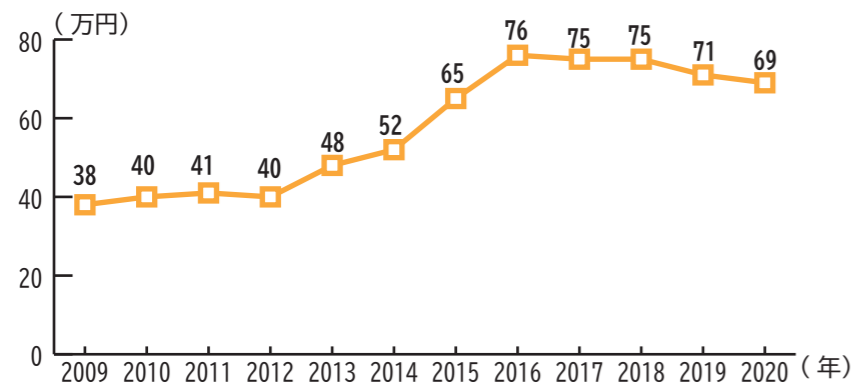
### ■90%以上が小規模な兼業農家

農林業に従事しながら、あるいは他の職業に従事しながら、畜産業を営む兼業農家が多いのが特徴です。飼育頭数30頭以上の農家数は3農家に留まっています。

### ■肥育農家は少なく繁殖農家が多い

母牛に子牛を生まれさせ子牛を出荷する「繁殖」を行う農家が98%、市場で買った子牛を大きく育て「肥育」を行う農家が2%(1軒のみ)です。

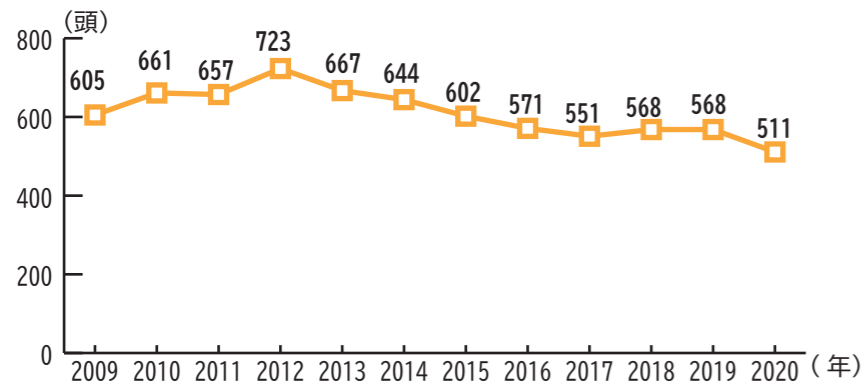
#### 【子牛価格の推移】



椎葉村から出荷される子牛の市場価格は、近年1頭70万円～80万円で推移しており肥育農家や繁殖農家からの評価が高いことが伺えます。

(資料：農林振興課)

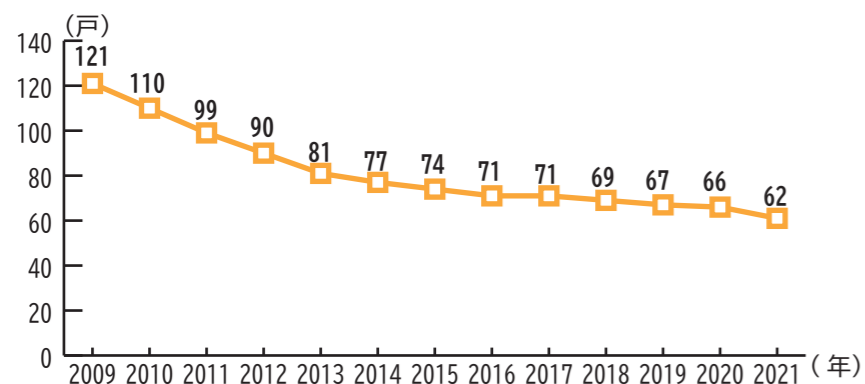
#### 【出荷頭数の推移】



椎葉村から出荷される子牛の頭数です。農家数の減少割合に比較するとその減少傾向は緩やかです。

(資料：農林振興課)

#### 【畜産農家数の推移】



畜産農家数が減少しています。平均年齢は63歳と高くなっており、今後5年で62件から56件まで減少すると予測しています。

(資料：農林振興課)

## 目標

「村内畜産農家所得の合計=(1農家あたりの所得)×(農家数)」の維持あるいは増加を目標とします。

数値目標	2020年度(実績)	2026年度(目標)	備考
農家数	62件	56件	高齢化により5名程度の減少を見込む。
1農家平均売上高	540万円	600万円	
母牛頭数	675頭	640頭	村内の総数は減少を見込むが、1農家当たりの頭数は増加を見込む。
分娩間隔	403日	390日	
子牛死亡率	7.2%	3.0%	

➡ 関連する個別計画 なし

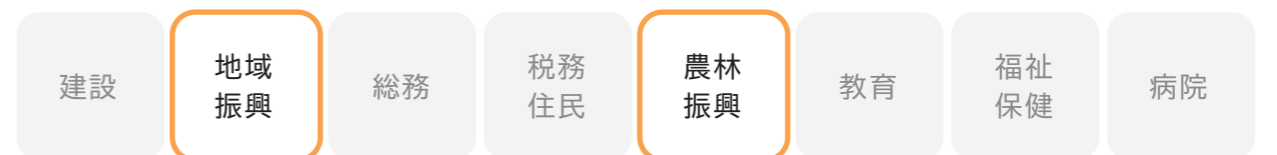
## 行動指針

(1)について  
農家平均売上高について、これまで通り小規模農家向けの支援策は維持しながらも、1農家あたりの生産量を増やし、経営規模拡大を促すような取組を進めていきます。

(1)について  
「椎葉牛ブランド」推進による単価引上げに挑戦しつつも、基本的には1農家当たりの生産量を増やすことを中心的な戦略とします。

(2)について  
村内畜産農家数について、事業承継の推進、並びに高齢でも業務ができるよう施設等の整備により、農家数が大幅に減少することがないようにします。

## チーム



## 施策の体系

1畜産農家あたりの所得(利益)が増える

### (1)売上を増やすための活動を支援します。

生産量を増やす

1 農家あたりの生産量を増やし、経営規模拡大を促すような政策を進めていきます。

単価を上げる

「椎葉牛」ブランドのPRを民間事業者と連携して継続します。

【主な事業】

畜舎新築及び改築事業  
優良雌牛導入事業

	2020年度 (実績)	2026年度 (目標)
1 農家平均売上高	540万	600万
母牛頭数	675頭	640頭
分娩間隔	403日	390日
子牛死亡率	7.2%	3.0%

### (2)過大な経営コストを減らすための支援をします。

【主な事業】 優良牛導入資金利子補給 自給飼料機械等導入事業

### (3)農家間の連携を深めることで、技術の習得を支援します。

【主な事業】 椎葉村和牛改良組合運営補助  
肉用牛ヘルパー協議会青年部運営補助

### (4)家畜衛生対策の強化を図ります。

### (5)新規就農者を増やすとともに、離農者数を減らします。

【主な事業】 農業次世代人材投資事業

畜産農家数の減少が緩やかになる

	2020年度 (実績)	2026年度 (目標)
畜産農家数	61件	56件